



青井奨学会の事業内容

青井奨学会は、創業者 青井忠治が、「有為な人材を育成して社会に送り出したい」との想いから私財を投じ、それを基金として1973年に設立されました。最大の特徴は、奨学金が無償給付で返済不要という点です。これは、忠治の「事業の利益は社会から得させていただいたものであり、その利益の一部は当然社会に還元されるべきもの」「個人財産も世の中の役に立つことに使いたい」という信念に基づいており、運営資金は奨学会が保有する丸井グループの株式の配当金で100%賅っています。

奨学会の事業内容としては、①大学奨学金、②高校奨学金、③Aoi Global Research Award(青井交換留学奨学金賞)と

④交流支援の4つの事業があります。大学生・高校生が自由に学び、自分らしく自己実現できる場を提供しています。

青井奨学会の変遷

- 1973年 文部大臣の認可を受けて「財団法人 青井奨学会」設立
- 1974年 第1期奨学生決定(大学生15名、高校生11名の計26名)
- 2012年 内閣総理大臣より「公益財団法人」として認可される「高校3年時予約型・大学奨学金制度」を新規導入し、募集開始
- 2014年 「Aoi Global Research Award」(青井交換留学奨学金賞)を新設し、第1期奨学生として3名の大学院生に授与
- 2015年 新高校奨学金制度を導入し、第1期生の募集開始

これまでの実績

2021年に創立48周年を迎え、これまで給付した奨学金は約20億円を超えており、卒業生も1,588名となりました。2022年3月期は、給付額1億3,100万円(予測)、給付者数は197名と、いずれも過去最高となる見込みです。

青井奨学会の特徴の一つに、年1回の現役奨学生と卒業生が一堂に会する奨学生集会があります。金銭的な給付だけでなく、同世代や卒業した先輩たちとの交流を深め、それぞれが成長する場をつくりたいとの想いから開催しています。



奨学生と卒業生が一堂に集まり意見交換し、仲間をつくる年1回の集会

給付者数と給付額の過年度推移(公益財団法人移行後)

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
総給付者数(名)	66	67	73	98	119	123	148	189	197
奨学金給付額(万円)	3,384	4,206	4,474	5,506	7,290	7,380	9,104	12,332	13,100 (予測)
新規採用数(名)	14	21	26	38	40	40	55	70	61
大学生(名)	13	20	19	22	31	28	41	61	52
高校生(名)	1	1	7	16	9	12	14	9	9

数値で見る青井奨学会

累計卒業生数(創立以降) **1,588名**

累計給付金額(創立以降) **20億1千万円**